

現代経営学演習

担当：鈴木 一水

I 内容と特徴

経営戦略、マーケティング、組織、人的資源管理、技術経営、経営管理等々、学生の関心の対象は様々でしょうが、いずれの領域であっても、問題解決は最終的に企業価値の向上につながります。この演習では、各自の抱えている問題の解決が企業価値創出のドライバーとしてどのように働くか、という観点から研究を進めていきます。

この演習のもう1つの特徴は、企業の内部に入って資料を収集するのではなく、企業の外部にあるデータを使って、外側から企業を見て分析するというアプローチを取ります。このアプローチを身に着けていれば、自分の勤務先やその他の関与していない企業についても分析できるようになります。

演習の具体的な内容は次の通りです。

- ① 研究することの意義、特に成功事例の模倣ではなく、自分で問題を発見し解決していくことの重要性
- ② 自己満足ではなく、他人を納得させるような論文の書き方
- ③ 資料の集め方と使い方
- ④ 企業価値評価の意味と方法
- ⑤ 各種経営資源と企業価値との関係

II 目標

この演習が終了した段階で、次の点に到達していることを目標とします。

- 誰も知らなかったことを新たに発見する、誰もがなんとなく感じていたことを改めて矛盾かつ反論の余地なく体系的に説明する、今まで複雑な方法でしか説明できていなかったことをもっと単純な方法で説明してみせる、等とにかく何らかの新しい知見を得る。
- 基本的な統計処理の方法とその意味を理解する。
- 企業価値評価の方法を習得する。
- 企業価値の形成要因を体系的に理解し、実務における問題の発見と解決に役立てることができるようになる。

Ⅲ 演習の進め方

教員（ティーチング・アシスタント：TAを含む）の講義、学生の報告および討論の3部構成によって進めます。が、演習では特に討論が重要になります。他人の意見を聞き、理解し、それに対する自分の意見を述べることを、立場を変えて繰り返すことによって、自分が今まで誤解してきたこと、見落としていたことなどが明確になります。それどころか、ひょっとしたら先行研究でも見逃されていたこと、したがって今まで世界で誰も気づいていないことを発見できるかもしれません。ですから、討論には積極的に参加してください。

Ⅳ スケジュール

（学生の関心および進行状況によって、順序および内容が変更になることがあります。）

1 平成22年8月21日 0850-1210 (①②)

- 研究するということ、特に「研究」と「勉強」の違いについて
- 研究の進め方（仮説の設定と証明）
- この演習の基本的な方針

2 平成22年9月18日 1320-1830 (③④⑤) 【情報処理演習室】

- データの整理・分析のためのコンピュータ（ソフト）の使い方
- 記述統計
- 仮説検定（比率の差、平均の差など）
- 多変量解析（回帰分析、判別分析、因子分析など）

3 平成22年10月16日 0850-1210 (⑥⑦) 【情報処理演習室】

上記2の続き

4 平成22年11月6日 1320-1830 (⑧⑨⑩)

- 公表データの種類と入手方法
- 有価証券報告書の読み方

5 平成22年12月25日 0850-1210 (⑪⑫)

- 過去のMBA優秀論文を検討し、最終目標である修士論文の書き方を具体的にイメージする。
- 論文の構成
- 論文の書き方

6 平成 23 年 1 月 15 日 1320-1830 (13⑭⑮)

- 企業価値の定義
- 代表的企業価値評価モデル
- 経営資源と企業価値との関係
- 経営戦略の事業計画による表現
- 事業計画から将来財務諸表への変換
- 将来財務諸表からの将来キャッシュフローの予測
- 資本コストの推定
- 企業価値の形成要因

7 平成 23 年 2 月 19 日 0850-1830 (16⑰⑱⑲⑳)

- 上記 6 の続き
- 各自の問題意識の確認
- 各自の問題意識と各種経営資源と企業価値との関係の検討

8 平成 23 年 3 月 26 日 0850-1830 (21、22、23、24、25)

- 各自の問題意識の再検討
- 先行研究

V 参考書

(適宜、追加します。)

- 澤田昭夫『論文の書き方』講談社学術文庫、昭和 52 年。
- ダン・レメニイ他 (小樽商科大学ビジネス創造センター訳)『社会科学系大学院生のための研究の進め方—修士・博士論文を書くまえに—』同文館出版、平成 15 年。
- 東郷雄二『東郷式 文科系必修研究生活術』夏目書房 2001 年。
- 伊丹敬之『創造的論文の書き方』有斐閣 2001 年。
- ウイリアム・トムソン (清野一治訳)『経済論文の書き方』東洋経済新報社、2006 年。
- 柳澤義一『会社の数字を読み解くルール』明日香出版 2009 年。
- あずさ監査法人『会社情報の宝庫有価証券報告書の見方・読み方 (第 7 版)』清文社 2008 年。
- 大村 平『多変量解析のはなし (改訂版)』日科技連出版 2006 年。
- 田中豊、脇本和昌『多変量統計解析法』現代数学社 1983 年。
- 鈴木基史、羽岡秀晃『ケースで学ぶ企業財務分析』中央経済社 2006 年。
- 伊藤邦雄『ゼミナール企業価値評価』日本経済新聞社 2007 年。
- パレプ、ヒーリー、バーナード (斎藤静樹監訳)『企業分析入門 (第 2 版)』東京大学

出版会 2001 年。

- ブリーリー、マイヤーズ、アレン（藤井真理子、国枝繁樹訳）『コーポレートファイナンス（第 8 版）』日経 BP 社 2007 年。